

そうじの力だより

VOL.204



支援事例紹介

日本一「清潔で、わかりやすく、やさしい」ホームセンターを目指して

「そうじの力」は美化活動ではない

香川県を本拠として、近県を含めて十一店舗を展開するホームセンター、西村ジヨイ。地元では知らぬ人はいない、人気のホームセンターです。

同社の「三大主義」には、「お客様第一主義」と「利益こそ社員を幸せにする」と合わせて、「そうじの力」が掲げられています。

これほど重要視するのは、「そうじの力」とは、単なる美化活動ではなく、「気づく力」や「工夫する力」を養い、「自立的な風土」や「互いに役立ち合う風土」を育むための取り組みだと認識しているからです。

目指すのは、「日本一清潔で、わかりやすく、やさしいホームセンター」です。というのも、一般的にホームセンターというものは、プロの業者や通好みの客向けに作られている面があり、売り場がわかりにくかったり、乱雑だったりすることが多いのです。

しかし同社では、このビジョンの下、社員にとってもお客様にとっても、また、地域にとっても、わかりやすくやさしい店を作るべく、全社員が参加して、あらゆるシーンにおいて整理・整頓・清掃に取り組んでいます。

たとえば、レジ周りの配線。電源コードやLANケーブルなどがごちゃごちゃになっていて、そのままではレイアウト変更や万が一の災害時に、困ってしまいます。

そこで、これらの配線を、一つずつ、何の配線なのかわかるようにタグをつ



レジ周りの配線を床面から上げて整える

すくならります。



店舗の庭木を剪定して地域環境に配慮

また、店舗周辺の掃除にも力を入れて

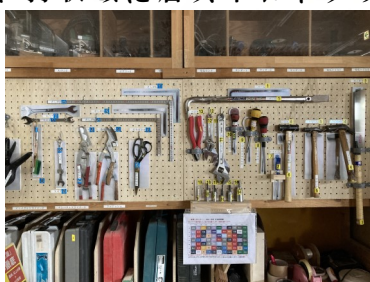
同社では、活動が行き当たりばつたりにならないよう、また、店舗間で濃淡が出ないように、「西村ジヨイスタンダード」というマニュアルを作成して、活動を行っています。

たとえば、掃除道具置場。道具置場が乱雑だったり汚れていたりすれば、キレイに掃除をしようという気になり



美しくわかりやすく整えられた掃除道具置場

また、木材を加工する工作室。ここ



乱れがちな工作室の工具置場も整理整頓

とはい

とはいえ、この西村ジヨイスタンダードは、決して本部が作って一方的に店舗に押しつけるマニュアルではありません。作成に当たっては、担当店舗が原案を作り、実際にやってみて、その使い勝手や持続効果を確認して、各店に展開されます。

また、一度承認され全店展開されたスタンダードも、決して無条件に継続ではありません。

各店で実際に運用してみて、使いづらいつらいつら、別のやり方でもより良い効果が確認できた際には、それが新たなスタンダードとして承認され、以前のものは廃版になります。

ちょうど今回、各店各売り場のPOP看板を統一しよう、ということになりました。これまでは、各店の各売り場で、実はPOP看板は統一されておらず、担当者の裁量で様々な仕様のものが作られていました。



全店で仕様が統一されたPOP看板

作成に当たっては、複数の店舗で実際に作っているものをベースに提案をしてもらい、その中から、もっとも使い勝手がよく、丈夫で、コストもかからないものが選ばれました。

こうして、現状に満足することなく、常に改善して、より良いお店作りを続けていっています。(小早)

オンラインでの研修や講演を承ります。目的や対象者に応じて、時間や内容をカスタマイズできます。まずは[ホームページ](#)をご覧ください。



そうじの力コラム

ニワトリが先がタマゴが先か
〜汚い店はつぶれる〜

自宅にいるときは、毎朝、犬の散歩をしながら、目についたゴミを拾いながら歩いています。

こうして歩いていると、時折、周囲にゴミが散乱している店舗に出くわすことがあります。

たとえばこの写真の店。

いつ行っても、店の周囲にゴミが落ちています。

ラーメン屋なのですが、落ちていたのは、アイスの箱や包み

紙、バーなどがほとんど。



よく見ると、店の裏側にアイスクャンデーの自販機が置いてあり、どうやら、客がラーメンを食べた後に、口直してアイスを食べ、そのアイスのクズを道端に捨てていくようなのです。

店側に見れば、いい迷惑でしょう。

とはいえ、アイスの自販機を設置したのは店であり、当然、責任も店側にあると捉えるべきでしょう。

不思議なのは、こうして散らかったゴミを、店側がそうじしている気配が感じられないこと。

私が毎朝拾っているのに、どうにか現状を維持しています。もし私が拾わなかったら、どんどんゴミが溜まっていったこ

とでしよう。

そんなことが続いたある日、出張から戻って一週間ぶりに散歩したところ、この

店が違つていま

変わつていま

した。どうやら

ら経営者は

同じようなの

で、単に模様

替えただけ

なのかもしれ

ません。



けれども、よく見るに、前の店の売上、前店の売上が伸びなかつたので、看板を変えてみた、ということでしょう。実質、前の店はつぶれた、と私は見えています。模様替えをする前に、店の周囲をキレイにそうじすべきだったのでないでしょうか。

実は同じ散歩コースで、以前に、別の店で、似たようなことがありました。

その店は焼き肉屋なのですが、裏口の周辺が、とても汚いのです。段ボールや一斗缶が散乱しており、使っていないと思われる冷蔵庫なども放置されていました。

その店は、ほとんど閉店しました。今も、お化け屋敷のような姿のままです。

汚くしていると店がつぶれるのか、あるいは、ダメな店は汚くなるのか、どちらかはわかりません。ただ、「汚い」とこと「つぶれる」とことは相関がありそうです。

ならば、キレイにした方がいいですね。たいした労力もかかりません。(小早)

編集後記

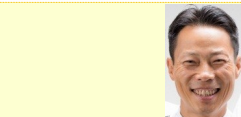
心臓に悪い・・・

中3の息子のサッカー部が、市の大会を経て、県大会に出場しました。2回戦と準々決勝を危なげなく勝ち上がり、準決勝では苦しい展開ながらもPK戦で勝利。

迎えた決勝戦。相手はなんと、市の大会の決勝で戦って敗れた学校。

息詰まる攻防で0-0のまま延長、再延長、そしてまたもPK戦に。そしてこのPK戦を5-4で制して、なんと優勝してしまいました！

予想外の大会。ドキドキハラハラの連続で、応援している親の方が緊張で参ってしまいました・・・(^_^;) (小早)



飛鳥のつばやき

アゲハ観察

先月、5匹のアゲハ幼虫の餌となつたみかんの木ですが、ご覧の通り丸裸にされました。

満を持して、終齢幼虫となつた幼虫2匹(他は逃げられた)を飼育ケースに入れ、

「よし！脱皮する瞬間を見るぞ！」

と意気込んだものの、1匹は蛹になる際に落下してお亡くなり。もう1匹は寄生されており蛆虫が出てきました(涙)。

うーむ自然界、厳しいな・・・

(大槻)



株式会社そうじの力

そうじで組織と人を磨く、
日本で唯一の研修会社

弊社は「そうじ＝環境整備」を通じ

た「企業風土改革」を支援します。

講義、実習、チームミーティング、計画作り、現場検証を通じて、社長と社員の意識改革を図り、健全な企業風土作りをお手伝いします。

支援期間は1年から。毎月1回訪問を原則としますが、状況とご要望に応じて、プログラムをオーダーメイドします。また各種団体向けの講演のご依頼も受け付けております。(全国対応)